



朝夕にはひときわ冷え込むようになりました。地域の皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。8月の大雨被害が激甚災害に指定され、また、全国でも台風や地震などの自然災害が頻発しており、防災について改めて意識された方も多いのではないのでしょうか。

松陽こども園では災害に備えて、飲料水や食料、簡易トイレ、自家発電機などを備蓄しています。また、いつ発生するかわからない災害に備えて、こども園では毎月避難訓練を行っています。災害訓練、地震訓練の他にも風水害訓練、不審者侵入訓練にも力を入れています。安全に避難したり自分で身を守ったりすることが身に付くように、職員間の話し合いだけでなく、災害の話子ども達へも分かりやすく伝えることも大切にしています。緊急事態に対応できるように、これからも様々な災害を想定して訓練を重ねていきたいと思ひます。



10月の避難訓練は園内からの出火という想定で行いました。当日は天気も良く、多くのクラスが園庭で普段と変わりなく遊んでいる時に、非常ベルの音と『只今より避難訓練を始めます』という放送を流しました。すると、大きい年齢の子どもたちはピタッと遊びの手を止め「何だろう」と周囲に注意を向け放送に耳を傾けていました。保育者が「集まって〜」「こっちにおいで」と声を掛けるとすぐにそれぞれの担任のもとへ集まり、小さい年齢の子どもたちもいつもと違う雰囲気を感じ取り、保育者の近くや避難用の散歩車に座って集まりました。

職員は0歳児から5歳児までの子どもたちを避難させるため迅速に動くことを心掛けていますが、何より人数確認を重視し、集まった際、移動前、避難後、など何度も人数を数えながら移動しています。また、災害の状況によっては保育室での待機や屋上へ避難する場合があります。



園庭へ集まった子どもたちへ「今日は何の避難訓練だったか分かる？」と保育者が尋ねると、多くの子が「火事」と答えていました。中には「機械室から火が出た」と訓練の放送で言っていた内容までしっかり聞いて覚えていた子や、園庭で集まった時から手で口元を覆い、煙を吸わないようにするという行為を自発的に行っている子もいました。

毎月訓練を重ねることで、普段と違う出来事が起きた時には周囲に注意を向けたり身を守るための行動を起こしたりと、身を守るために何をすると良いのかが子どもたちに身に付いてきていると感じられました。

こども園では第一避難場所を園庭としています。しかし、災害の状況によっては園庭では安全が確保できないと判断した場合として、第二避難場所の大領中町公民館の駐車場へ避難することもあります。

そこで今回は子どもたちに第二避難場所があるということを知らせるというねらいのもと、2歳児以上の子どもたちは第二避難場所まで移動しました。公民館の駐車場に到着すると、園長先生がもし火事があった時には遠くに逃げることを、こども園やその近くの火災でこども園も類焼の危険がある時には公民館の駐車場が避難場所になるという事を子どもたちに話しました。



災害や避難場所、命を守ることについての話をどの子も真剣な表情で聞いていました。

松陽こども園の災害備蓄品

(地域の方も園に数日間避難できるだけの量を備蓄しています)



いしや〜きいも〜 おいも〜



10月21日にさつまいも掘りを行いました。

当日は朝からさつまいも掘りを楽しみに「どんなおいもあるかな」「大きいのあるかな」と言っていて楽しんでいた子どもたちでした。向本折土地区の方に手伝っていただき、友だちや保育者と一緒に手で穴を掘って探したり、さつまいもやツルを両手で掴んでかっぱい引っ張ったりしていました。

また11月8日に『石焼き芋パーティ』を開催し、収穫したさつまいもを玄関先で石焼き芋にして降園時に焼きたてを持ち帰りました。さつまいもが焼き上がる匂いに気が付くと「なんかいい匂いする」「早く食べたいな〜」と嬉しそうな表情になり、焼きたての石焼き芋を持つと笑顔と共に「あったか〜い」という呟きがこぼれていました。



石焼き芋の他、給食で調理したものを食べたり、各クラスでクッキングをしたりして、匂いの味を楽しみました。

小さい子も1本選んで持ち帰りました♡



こども園では災害用備蓄品だけでなく AED も設置しています。これはこども園の園児・職員だけでなくどなたでも使用できます。使用するような事態が起きないことが一番ですが、万一の時には命を守る手段の一つとして備えています。

YouTube をチェック!

松陽こども園で働きませんか? 大和善隣館の6園の紹介動画(リクルート用)がYouTubeに掲載されています。ぜひ松陽こども園をチェックしてみてください。

